

令和6年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	特定非営利活動法人 チャーム	
実施事業名	外国人話者が利用できるHIV検査受検システムパイロットプロジェクト	
団体代表者	理事長 松浦基夫	
事業の目的	通訳者が常駐しない検査会場で、日本語を解さない人がHIV/STI検査を受ける際に検査前後に必要な情報を得ることができる多言語システムの開発し使用する。それによって検査会場で日本語を解しない受検者に対応する保健師等の負担を軽減し、HIV検査が外国人話者が理解した上で検査を受けることを目指す。	
事業の達成度	予定していた目標の70%の達成となった。目標としていた外国人が来てでも対応できる多言語の説明システムを完成することができたことで50%の達成と考える。資料の内容検討に予想外の時間を要したことから事業計画が遅れたことで予定していた翻訳言語を下回った。試験的实施をすることで改善点や利用者の声を聴くことができた。試験実施は大阪市内1カ所のみの実施となり言語も英語のみであった。自ら高く評価する理由は、プログラムが形となったことの意味は大きく、1カ所のchotCASTで使用したスタッフの反応は良好で、さらに事業の委託元である大阪府・大阪市は、同システムについて感染症対策担当者が高い関心を示している。自治体保健所で2025年度に実施することを検討中である。	
事業実績	対象となった人数 (実数)	期間内に試験実施検査会場で2025年2-3月の間にchotCASTでHIV/STI検査を受けた1,137人の内外国人の数は139人(12%)であった。その内多言語動画を利用した外国人は25名であった。(資料7参照)
	具体的な活動内容	別紙参照

事業実績 具体的な活動内容

通訳者が常駐しない検査会場で、日本語を解さない人が HIV/STI 検査について検査前後に必要な情報を得ることができる多言語システムは以下の内容である。

システムの形態：パワーポイント動画

- システムの種類：
- 1) 検査前情報
 - 2) 検査後要確認検査についての情報
 - 3) 陰性結果についての情報

言語：英語、中国語（北京語）、中国語（繁体語/台湾語）、ベトナム語

- 使用方法：
- 検査会場に多言語システムがあることの案内掲示（資料 2）
 - この検査会場で受けることができる検査項目一覧（資料 3）
 - 検査前説明動画 QR コード（資料 4）
 - 要確認検査に関する説明動画 QR コード（資料 5）
 - 陰性結果説明動画 QR コード（資料 6）

システム開発過程：

2024 年 5 月

大阪市保健所感染症対策課と事業の内容について協議し、大阪市内の HIV 検査会場で試験実施を行うことを合意した。市内の HIV 検査会場で一番外国人受検者が多い心斎橋の chotCAST で今年度試験実施を行うことで進めることの承認をえた。

2024 年 6 月-7 月

chotCAST との会議のなかで同プロジェクトの試験実施への協力を依頼し、了解を得る。検査前資材、検査後確認検査資材、検査後院政結果説明の資材内容の検討会議と執筆、原稿の確認を経て最終版完成。

2024 年 8 月

資材テンプレートとなるパワーポイントを日本語で作成

2024 年 8-9 月

資材テンプレートを英語版翻訳開始。修正、改定の上完成。

2024 年 10 月

英語版録音実施、改訂、完成。事務所内で試験実施

2024 年 11 月-12 月

ベトナム語、中国語（簡体語）、中国語（繁体語）翻訳

英語版試験実施の結果、誘導ポスターを作製

全言語の誘導ポスターを作製

2025 年 1 月

英語版の試験実施を chotCAST(大阪府・大阪市委託事業)に依頼。

検査会場スタッフに利用方法を説明 2回

2025年2月

chotCAST において英語版の試験実施開始。2025年2月-3月

ベトナム語、中国語(簡体語)、中国語(繁体語)録音実施

2025年3月

chotCAST 検査会場でシステムについて検討会議を開催

システムを利用したスタッフからの評価は以下のとおり。

- ・陰性結果については簡単な説明しかしていなかったが動画では HIV 感染についての情報、感染予防の方法など詳しい情報が提供されているので良い。
- ・同検査会場は 2025 年 2-3 月に受検した 2856 人の内 332 人が外国人であった。(11.6%) この内 25 人が同システムを利用した。検査会場では、外国語対応の通訳者は月 1 回のみ配置されていないのでそれ以外の検査日にいつも多くの外国人が来て対応に困っていた。この動画を利用することで、これまで対応に困っていたベトナム語と中国語が大変助かる。
- ・利用者からも動画は、分かりやすくかつ短くまとめられているのでとてもよいという意見を聞いたという報告を得た。

今後に向けた改善点についての意見は以下の通り

- ・検査会場で受けることができる検査項目がスライドで写されている方が分かりやすい。現在は動画の汎用性を考えて詳細の違いはポスターで補っているができればすべて動画に含まれている方が良い。この点については改良する。
- ・動画の最後にアンケートをつけてその場でアンケート記入できるようにするのが良い。この点については検討事項。